

青森県営多賀台団地・八戸市営多賀台団地



多賀台団地は、1966～1969（S.41～44）年に建設された、5.7ha、336戸（県営住宅226戸、市営住宅100戸）の大規模団地です。2001年に青森県によって、県営・市営住宅の一体的な建て替えの基本計画・基本設計プロポーザルが実施され、当社が当選しました。

『木のまちが育む、ひとと緑が結び合う豊かな暮らしづくり』をコンセプトに、豊かな緑や人のつながりの継承、安心安全で住みよい住まいづくり、地域の林産資源を活かした“木のまち”づくり、を提案しています。

東西に長い計画地に対して、県・市一体的な団地として骨格構造を再構成するとともに、敷地中央を東西に貫く生活軸『楽農（らくのう）の小径』、既存のサクラを活かしたミニインフラ（歩行者通路）等を計画しました。また従前住戸では家庭菜園がさかんであったことから、『楽農の小径』沿いに、屋外活動の拠点となる『楽農ハウス』を配置しました。

親密なスケールでまちなみを構成するため、住宅は、コモンスペースを囲む南入りと北入りの2タイプとし、木造の平屋・2階建てのタウンハウス方式としています。

現在は、県営住宅の第3期の工事（実施設計は地元事務所）が進められています。



計画データ

所在地 / 青森県八戸市  
 事業主体 / 青森県、八戸市  
 用途 / 公営住宅（建替）  
 敷地面積 / 約5.7ha  
 構造・規模 / 木造 平家、2F  
 戸数 / 211戸

